

事業シート(令和7年度予算)

事業名	21500海外戦略推進事業費					予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	高山市産業振興計画
							款	2	総務費			ポイント			
							項	1	総務管理費			政策分野			
							目	16	海外戦略推進費			分野別 施策分野			
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課、商工労働部	商工振興課	内線	2417									市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす暮らす強さ～ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・世界の活力を呼び込み地域経済の活性化を図るため、海外からの観光客の誘致及び周遊促進を図る。 ・多様化する外国人観光客のニーズに応え、安心して快適に滞在できる環境を整えるとともに、市内消費を促進するため、受入環境の充実を図る。	概要	・多言語観光パンフレット・ホームページ等の充実やSNSの活用などによる情報発信の充実 ・トップセールスや海外旅行博覧会・見本市への出展、海外メディアや旅行関連事業者等への情報発信、日本政府観光局との連携などによる宣伝・誘客活動の推進 ・外国人観光客向け公衆無線LANサービスの提供や通訳ガイドの育成・確保、文化的・宗教的背景を持つ観光客に配慮したサービスの充実などによる受入体制の強化 ・高山に滞在した外国人旅行者を対象とした調査の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
外国人観光客入込者数(宿泊)(年間)	452,500人		
「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じている市民の割合	80.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
						増減(b)-(a)
		44,940	38,200	55,519		
特定財源	国費 (海外戦略推進事業費)			2,500		
	県費 (海外誘客プロモーション事業費)		4,900			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	14,000	19,511	47,000		
一般財源		30,940	13,789	6,019		
新規・拡充	主な事業内容					
	外国人観光客受入体制の強化	5,370	4,949	5,400		
	飛騨高山国際誘客協議会負担金ほか各種負担金	9,070	8,720	10,659		
	職員海外派遣、海外プロモーション	15,800	10,235	23,340		
	海外オンラインプロモーション等	10,080	10,038			
	外国人医療受入体制整備事業			5,300		
	地域活性化起業人材受入			5,600		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
			△ 55,519
			△ 2,500
			△ 47,000
			△ 6,019
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・海外メディア、旅行関連事業者等の招へい(28件) ・多言語ホームページの運用(11言語) ・無料Wi-Fiサービスの運用(利用件数23,427件) ・海外誘客プロモーション事業の実施
評価等	・訪日旅行市場の回復を踏まえ、海外現地における旅行博への出展や旅行会社との商談会への参加、冬季観光開散期における集中的な誘客プロモーション等、積極的な誘客活動を展開した。 ・関係団体と連携した市民アンケート等の実施により、観光振興と市民生活の調和における課題の整理や分析を行った。 ・市場の回復にあわせた各種プロモーション事業の展開により、外国人観光客入込者数(宿泊)は過去最高であったH31(R1)年比74%の452,500人に回復した。
次年度以降の考え方(担当課)	・市内経済の活性化を図るため、関係団体と連携し、高付加価値旅行者層の誘致促進等の取り組みを進める。 ・住んでよし訪れてよしの持続可能な地域づくりの実現に向け、市民生活と観光の調和を図るため、外国人旅行者の受入環境の強化を進める。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・62160観光推進事業費及び62170誘客プロモーション推進事業費へ移行
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント			
						項	2	観光費		分野別	政策分野			
						目	1	観光振興費			施策分野			
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課	内線	2217					市長公約						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		33,660	32,506	13,130			
特定財源	国費 (国内観光プロモーション事業費、デジタルマップ制作業務委託)		20,614				
	県費 ()						
	その他(入湯税、夢・まちづくり基金収入、広告事業雑入 等)	33,229	11,892	13,005			
一般財源		431	0	125			
新規・拡充	主な事業内容						
	観光パンフレット等の作成	7,900	7,866	8,600			
	市内散策マップのデジタル化	1,900	1,627				
	国内観光プロモーション事業委託の実施	20,000	19,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・高速道路SA等へのパンフレット配架等によるマイカー利用者の誘客強化 ・近隣エリアを対象としたテレビ番組の制作放映 ・デジタル版市内散策マップの作成
評価等	・高速道路でのパンフレット配架やターゲットを絞ったテレビ番組の放映等、効果的なプロモーションが奏効し、観光入込客数は過去最高であったH31(R1)比86%となる4,072千人に回復した。 ・多様化する観光客のニーズの把握などにより、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開することで、国内観光客の誘客を強化する必要がある。 ・市内散策マップのデジタル化に伴う段階的な紙媒体の削減。
次年度以降の考え方(担当課)	・変化する旅行者のニーズや観光動向を把握し、より効果的な誘客宣伝を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど、時勢に即した戦略的な誘客活動をすすめる。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		
観光入込客数(宿泊)(年間)	191.8万人		
観光消費額(年間)	1,042億円		

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 13,130
			△ 13,005
			△ 125
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・62160観光推進事業費及び62170誘客プロモーション推進事業費へ移行
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62110 高山祭事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント				
						項	2	観光費		分野別	政策分野				
						目	1	観光振興費			施策分野				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217										市長公約	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 ・高山祭を安全に実施する。	概要	・祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 ・観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入体制を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		6,760	6,433	8,270		増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(寄附金)	1,200	1,200			
一般財源		5,560	5,233	8,270		
新規・拡充	主な事業内容					
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	2,000	2,000		
	案内本部の運営	4,160	3,813	5,620		
	交通量調査	600	620	650		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・案内本部の設置による、観光客等の安全安心な観覧環境の確保 ・祭協賛会への支援を通じた官民一体となった歴史文化保存の取り組みの継続
評価等	・高山祭は国内外に広く認知された行事であり、一時的に多くの来訪者が見込まれることから、今後も警察等との連携を強化した上で、観覧客が安全且つ安心して観覧できる環境を確保する必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	・今後はより多くの観光客の増加が見込まれるため、観光客を安全に受け入れできるように努める。 ・特に外国人観光客は更に増加するものと見込まれるため、プロモーションだけでなく、受入環境の整備も適切に取り組む。 ・ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした文化の伝承を意識した誘客活動を推進する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 8,270
			△ 8,270
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・62160観光推進事業費及び62170誘客プロモーション推進事業費へ移行
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント				
						項	2	観光費		分野別	政策分野				
						目	1	観光振興費			施策分野				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光客誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		14,000	14,000	16,000		増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(入湯税)	14,000	14,000	16,000		
一般財源			0	0		
新規・拡充	主な事業内容					
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	14,000	14,000	16,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動の実施 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 ・交通事業者と連携した誘客宣伝 ・教育旅行促進に関する商談会出展、教育旅行情報のホームページ等による情報発信 ・関西圏をターゲットとしたSNS活用による情報発信 ・アニメツーリズムの推進(氷菓、両面宿儺を活用したプロモーション) ・大阪・関西万博を契機とした新たな観光ルート開発などを見据えた観光セミナーの開催 ・世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」への出展
評価等	・急速な人流の回復に合わせ、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動を再開し、官民一体となって、PR活動を積極的に展開した。 ・大阪観光局との連携協定締結や万博記念公園駅でのプロモーションなど、これからのインバウンド観光と関西圏からの誘客における機運醸成が図られた。 ・国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 148,062人)
次年度以降の考え方(担当課)	・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 ・変化する旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		
観光入込客数(宿泊)(年間)	191.8万人		
観光消費額(年間)	1,042億円		

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 16,000
			△ 16,000
			0
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・62170誘客プロモーション推進事業費へ移行
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント			
						項	2	観光費		分野別	政策分野			
						目	1	観光振興費			施策分野			
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217										市長公約

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)	
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		161,563	149,928	159,763				
特定財源	国費 ()							
	県費 (観光回廊づくり推進事業費)							
	その他(入湯税、夢・まちづくり基金繰入金 等)	161,500	149,928	159,000				
一般財源		63	0	763				
新規・拡充	主な事業内容							
	観光協会の運営に対する助成	14,500	13,635	14,500				
	観光客誘致推進に対する助成	100,000	100,000	100,000				
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063				
	コンベンション開催に対する助成	14,000	7,940	14,000				
	観光イベント開催に対する助成	27,000	22,290	25,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 ・イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 ・観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 ・飛騨・高山コンベンションビューロー補助金 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 ・コンベンション開催支援補助金 コンベンション開催数:39件、参加者数:9,335人
評価等	・関係団体の取り組みを支援することで、急速な人流の回復や、多様なニーズを踏まえた様々なイベントやプロモーションを実施することができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・今後も官民一体となって、飛騨高山の魅力や特徴を活かした施策を推進することで、国内外に対する国際観光都市「飛騨高山」のプレゼンスの向上に努める。 ・支所地域の豊富な地域資源を活かした観光コンテンツを訴求することで観光客の周遊性の向上に努める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		
観光入込客数(宿泊)(年間)	191.8万人		
観光消費額(年間)	1,042億円		

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 159,763
			△ 159,000
			△ 763
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・62170誘客プロモーション推進事業費へ移行
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント			
						項	2	観光費		分野別	政策分野			
						目	1	観光振興費			施策分野			
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。
----	----------------------------------	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		82,730	63,815	54,823		増減 (b)-(a)
特定財源	国費 (教育旅行促進事業費、体験プログラム利用促進事業費)		45,288			
	県費 ()					
	その他(入湯税、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	69,558	18,527	20,232		
一般財源		13,172	0	34,591		
新規・拡充	主な事業内容					
	各種協議会負担金	11,420	11,420	13,923		
	芸妓育成に対する助成	1,500	1,046	1,500		
	地域資源を活用した誘致	630	24	630		
	教育旅行促進事業補助金、体験プログラム利用促進事業補助金	63,000	45,288	30,000		
	観光施設におけるバリアフリーモニターツアー			1,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどによる、観光動態調査の実施 ・各種協議会等に参画し、それぞれにおいて状況を鑑みた誘客宣伝活動の実施 ・おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みの支援 ・今後の高山市の観光振興に必要な補助事業の実施 ○教育旅行促進事業(第3弾):13,436千円(73校 9,751人利用) ○体験プログラム利用促進事業(第3弾):31,852千円(16,062人利用)
評価等	・おもてなし文化後継者育成支援により、総合的な伝統芸能の習得につなげることができた。 ・各種協議会と連携した事業に加え、それぞれが保有する有益情報を共有することができた。 ・教育旅行促進事業、体験プログラム利用促進事業とも、継続実施することで当市の魅力を広く周知することができた。 ・観光統計を踏まえ、これからの時勢を見据えた観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 ・観光動態調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、これまでのコロナ禍で得た知見を活かしてこれからの戦略的観光施策を検討する。 ・市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを継続して行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		
観光入込客数(宿泊)(年間)	191.8万人		
観光消費額(年間)	1,042億円		

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 54,823
			△ 20,232
			△ 34,591
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・62160観光推進事業費及び62170誘客プロモーション推進事業費へ移行
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62160 観光推進事業費					予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	高山市産業振興計画		
							款	6	商工費			ポイント						
							項	2	観光費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション				
							目	1	観光振興費		分野別	施策分野	(5)	プロモーション・観光				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217											市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす暮らす強さ～ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光を活用した持続可能な地域づくりを支える基盤強化や受入環境の充実を図る。	概要	・外国人受診支援サービス、公衆無線LAN、各種観光課題への対応など受入環境の整備を図る。 ・高山祭の案内、警備を実施する。 ・各種観光施策に活用するための観光動態の調査分析を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		
観光入込客数(宿泊)(年間)	191.8万人		
観光消費額(年間)	1,042億円		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
						増減(b)-(a)
特定財源	国費 (観光推進事業費)					
	県費 ()					
	その他(入湯税、宿泊税 等)					
一般財源						
新規・拡充	主な事業内容					
	職員海外派遣等					
	トップセールス等					
	各種協議会員負担金					
	地域活性化起業人材受入					
○ 1	旅行者の安全安心対策					
○ 2	鉱泉源保護管理施設の整備等に対する助成					
○ 3	大阪・関西万博における情報発信					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	255,461
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
183,236	209,401	255,461	255,461
1,666	1,600	1,600	1,600
100,430	128,650	189,325	189,325
81,140	79,151	64,536	64,536
査定額	説明		
13,700			
4,100			
13,701			
11,800	2名		
10,000			
170,400			
2,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・事業を新設 ・持続可能な観光地域づくりを図るための各種受入環境強化施策の実施に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・高山祭開催時のデジタルサイネージ情報発信については0査定 ・大阪・関西万博会場での映像放映に必要な経費を計上
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

31_観光課_8

事業名	62160観光推進事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	観光課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	1旅行者の安全安心対策		☐ その他重要事業			項	2	観光費	内線	2416
			☐			目	1	観光振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・災害時における旅行者の安全安心対策の強化を図る。	概要	・災害時における円滑な旅行者対応策を確立する。 ・円滑な旅行者対応に必要なソフト・ハード両面の機能強化を図る。
----	---------------------------	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		10,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
○災害時における円滑な旅行者対応策の確立 ・災害の種類・規模・影響度・フェーズ等に応じた、市・DMO・観光団体・観光関連事業者など、各主体の役割整理 ・各主体に望まれる具体的な行動内容の明確化の検討 ・情報伝達関連対策の整理 ○円滑な旅行者対応に必要なソフト・ハード両面の機能強化 ・交通機関、避難所、観光案内所、観光事業者等におけるソフト・ハード両面の整備内容の整理 ・優先度の高い主要主体の行動マニュアルの作成 ・円滑な旅行者対策に関する取組方針の検討	
[スケジュール]	
・R7.8～ 事業実施	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62160 観光推進事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	観光課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	2 鉱泉源保護管理施設の整備等に対する助成		☐ その他重要事業			項	2	観光費	内線	2216
			☐			目	1	観光振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・鉱泉源保護管理施設整備等の支援により、観光を活用した持続可能な地域づくりの推進を図る。	概要	・鉱泉源保護管理施設等の設備投資、維持管理、修繕等の整備に対して助成する。
----	--	----	---------------------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	170,400
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		170,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ○鉱泉源保護管理施設整備等に対する助成 ・市内の鉱泉源所有者や温泉事業者等で構成された団体等に対し、施設の整備等に要する経費を助成することで、鉱泉源の保護管理施設や温泉施設の安定運営を支援する。	
[スケジュール] ・R7.4～ 事業実施	

事業シート(令和7年度予算)

31_観光課_10

事業名	62160 観光推進事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	観光課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	3 大阪・関西万博における情報発信		☐ その他重要事業			項	2	観光費	内線	2217
			☐			目	1	観光振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・大阪・関西万博会場に設置される専用施設において当市のVR動画を放映することで、国内外から来場されるお客様に対し当市の魅力の訴求を図り、誘客促進に繋げる。	概要	・大阪・関西万博の期間中、会場内ドームシアターにおいて当市のVR動画を上映する。
----	---	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,200
主な経費	・役務費	
対前年度増減額(当初予算)		2,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ○大阪・関西万博会場におけるVR動画の上映 ・大阪観光局との連携協定に基づき、大阪・関西万博会場に設置される専用施設において、当市のVR動画を放映する。 国内外から来場されるお客様に臨場感のある動画を体験いただき、誘致促進を図る。	
[スケジュール] ・R7.4～10 VR動画上映	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62170 誘客プロモーション推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	高山市産業振興計画		
						款	6	商工費			ポイント					
						項	2	観光費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション		市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす暮らす強さ～ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します
						目	1	観光振興費			分野別	(5)				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光を活用した持続可能な地域づくりを進める体制強化や、支所地域を含む一体的なプロモーションを推進する。	概要	・観光地域づくり組織の機能強化を図る。
----	--	----	---------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(宿泊税)						
一般財源							
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	観光地域づくり組織によるプロモーションの推進等に対する助成						
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金						
	飛騨高山国際誘客協議会負担金						
	観光協会補助金						
	観光イベント開催支援補助金						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	272,670
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
283,020	275,170	272,670	272,670
1,148		116,125	116,125
281,872	275,170	156,545	156,545
査定額	説明		
195,000			
16,000			
8,400			
14,500			
22,750			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・事業を新設 ・観光地域づくり組織の体制強化や支所地域を含む一体的なプロモーションの推進に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62170 誘客プロモーション推進事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	観光課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	1 観光地域づくり組織によるプロモーションの推進等に対する助成		☐ その他重要事業			項	2	観光費	内線	2217
			☐			目	1	観光振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・官民の役割分担を明確化し、民間主体の観光地域づくり組織による持続可能な観光地域づくりを支えることで、国内外から選ばれ続ける、住んでよし、訪れてよしの国際観光都市飛騨高山の実現を目指す。	概要	・高山市における一体的なプロモーション等の実施に係る事業費及び必要となる人件費相当額の助成
----	---	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	195,000
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		195,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
○補助金内訳 ・出向宣伝等に要する経費 ・各種パンフレット等媒体物印刷に要する経費 ・ブランディング業務に要する経費 ・地域連携事業に要する経費 ・コンベンション開催支援に要する経費 ・教育旅行誘致促進に要する経費 ・体験プログラム利用促進に要する経費 ・松本・高山BigBridge構想の推進に必要な経費 ・上記事業の運営に要する人件費	
[スケジュール]	
・R7.4～ 事業実施	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62200 観光施設運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画				
						款	6	商工費			ポイント						
						項	2	観光費		分野別	政策分野	5			産業・労働・プロモーション	市長公約	
						目	2	観光施設費			施策分野	(5)			プロモーション・観光		
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		275,880	258,357	351,530		
特定財源	国費 ()					
	県費 (新穂高温泉園地管理費 等)	274	274	274		
	その他(指定管理事業雑入(観光施設)、入湯税 等)	72,772	77,828	20,514		
一般財源		202,834	180,255	330,742		
新規・拡充	主な事業内容					
	観光施設の管理運営	205,581	193,899	243,330		
	施設整備	70,299	64,458	108,200		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・観光施設20施設(うち指定管理施設18施設)の管理運営 ・観光施設の維持修繕等(しぶきの湯遊湯館真空式温水機更新など)の実施
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理(森林公園大倉滝、みぼろ湖オートキャンプサイトの廃止決定)を実施した。 ・指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 ・施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 ・アフターコロナにおける人流の回復等により、利用者数は増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・計画的に施設の修繕をすすめる。 ・公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	426,360
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
465,070	425,360	425,360	73,830
274	274	274	0
22,037	33,383	38,083	17,569
442,759	391,703	387,003	56,261
査定額	説明		
289,660			
135,700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の管理運営、施設整備に必要な経費を計上 ・62210スキー場運営事業費より移行
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・桜香の湯空調熱源機器入替改修工事等は予算化を見送り
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62205 飛驒民俗村再整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画			
						款	6	商工費				ポイント					
						項	2	観光費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	
						目	2	観光施設費			施策分野	(5)	プロモーション・観光				
担当課	飛驒高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める。	概要	・飛驒民俗村再整備構想に基づく飛驒民俗村及び周辺エリアの再整備
----	---	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
観光入込客数(年間)	407.2万人		
飛驒の里の入場者数(年間)	16.5万人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		83,900	82,077	87,000		増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 (観光施設整備事業費 1/4)	7,450	7,979	10,000		
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、飛驒高山ふるさと基金繰入金)	50,000	70,000	70,000		
一般財源		26,450	4,098	7,000		
新規・拡充	主な事業内容					
	飛驒民俗村再整備構想に基づく整備	83,900	82,077	87,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛驒民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛驒民俗村の旧新井家屋根葺替、文学散歩道整備など) ・令和5年度利用者数 飛驒民俗村 165,057人
評価等	・飛驒地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等の改修・景観保全等の推進を図った。 ・アフターコロナにおける人流の回復等により、利用者数は増加している。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛驒民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・飛驒民俗村再整備構想の推進を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	38,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
63,200	38,000	38,000	△ 49,000
9,500	9,500	9,500	△ 500
		13,540	△ 56,460
53,700	28,500	14,960	7,960
査定額	説明		
38,000	旧中藪家屋根葺替		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛驒民俗村再整備構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・山岳資料館修理工事等は、施設の活用方法等を踏まえた検討が必要のため 予算化を見送り
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62207 奥飛驒温泉郷活性化事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント				
						項	2	観光費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
						目	2	観光施設費			施策分野	(5)	プロモーション・観光		
担当課	飛驒高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・奥飛驒温泉郷を活性化させる各種施策を展開し、これまで以上に多くの観光客が訪れる観光地づくりをすすめ、更なる誘客を図る。	概要	・奥飛驒温泉郷活性化基本構想に基づく同地域の活性化に向けた各種事業の実施
----	--	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
奥飛驒温泉郷の宿泊者の観光消費額	179億円		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		18,659	13,057	188,600		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(飛驒高山ふるさと基金繰入金、地方債)	10,000	13,000	173,000		
一般財源		8,659	57	15,600		
新規・拡充	主な事業内容					
	奥飛驒温泉郷活性化基本構想に基づく施設整備	18,659	13,057	188,600		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・奥飛驒温泉郷活性化基本構想に基づき、平湯大滝公園整備(景観改善・自然公園化)に向けた測量設計、施設解体設計の実施
評価等	・奥飛驒温泉郷活性化基本構想をはじめ、松本高山Big Bridge構想を推進する中で、奥飛驒温泉郷の地域資源を最大限活用し、上質で多彩な利用と滞在を提供するとともに、世界水準のディスティネーションの実現を目指す。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・奥飛驒温泉郷活性化基本構想の推進を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	91,000
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減 (d)-(c)
275,000	209,000	91,000	20,400
	209,000	91,000	36,000
275,000	0	0	△ 15,600
査定額	説明		
91,000	新穂高駐車場整備		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・奥飛驒温泉郷活性化基本構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・鍋平登山者用駐車場整備について、新穂高駐車場全体の方向性を踏まえた検討が必要のため0査定
市長査定の 考え方	・積算内容を精査 ・平湯大滝公園整備は、平湯バスターミナル周辺整備事業との一体的な整備を検討するため0査定

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62210 スキー場運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画		
						款	6	商工費			ポイント				
						項	2	観光費		分野別	政策分野				
						目	2	観光施設費			施策分野				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209											市長公約

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・スキー場のあり方の検討結果に基づく対応をすすめる。	概要	・索道施設の解体撤去等を行う。
----	----------------------------	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(土地貸付収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	85,000	85,193	277		
一般財源		9,656	8,832	160,523		
新規・拡充	主な事業内容					
	スキー場の維持管理	4,466	3,935	6,240		
	施設整備(解体)	87,500	87,494	152,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づく施設の整理・見直し後の財産の管理・処分等 ・旧飛騨舟山スノーリゾートアルコピア索道施設等の解体
評価等	・公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づき、財産の管理・索道施設等の解体をすすめた。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づき、施設の整理・見直しを実施した後の財産の管理・処分等を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 160,800
			△ 277
			△ 160,523
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・62200観光施設運営事業費へ移行
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
						款	6	商工費			ポイント			
						項	2	観光費			政策分野	5		
						担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課		内線	2209	目		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、滞在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター（奥飛騨温泉郷観光案内所）の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	84.8%		
高山市への再来訪の意向	99.7%		
観光入込客数(年間)	407.2万人		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		21,735	20,820	8,290		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(敷地占用料、事務所等使用雑入)	21,400	20,820	7,400		
一般財源		335	0	890		
新規・拡充	主な事業内容					
	観光案内所の管理運営	18,345	17,430	4,770		
	まちかど観光案内所の管理運営	3,390	3,390	3,520		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 ・古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 ・直営による新穂高センター（奥飛騨温泉郷観光案内所）の管理運営 令和5年度利用者数 飛騨高山観光案内所 171,745人 新穂高センター（奥飛騨温泉郷観光案内所） 10,816人
評価等	・飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 ・飛騨の家具やベレツストープを導入し、市内産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 ・アフターコロナにおける人流の回復等により、利用者数は増加している。
次年度以降の考え方 (担当課)	・近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 ・利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者に再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 ・公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	8,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
8,700	8,700	8,700	410
550	550	550	△ 6,850
8,150	8,150	8,150	7,260
査定額	説明		
4,990			
3,710			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・観光案内所の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり